

待ちに待った プール開き



富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



議会改革特別委員会報告 6

7人が町の課題を問う 8

おじゃまします 16

6月定例会

会期6月16日～23日 8日間

補正予算 2億8068万円
補正後の予算総額 85億1766万円

おもな一般会計補正予算

峡南医療センター企業団貸付金	2億円
増穂小学校飛散防止フィルム貼工事費	1690万円
増穂中学校建具改修工事費	4872万円
コミュニティ助成事業補助金 (上町山車保存会 250万円 仲町山車保存会 250万円)	500万円
第4保育所検食用冷凍庫購入費	24万円
増穂南小学校コミュニティ・スクール導入等促進事業費	24万円
第6回全国禹王サミットin富士川負担金	100万円
山車修繕補助金	100万円
やまなし農業・農村総合支援事業補助金	398万円
農業委員及び農地利用適正化推進委員報酬	55万円



飛散防止工事予定の窓ガラス



サミットに向けてのポスター



山車巡行の様子

下水道事業特別会計補正予算

下水道管布設替工事	450万円
東川拡幅物件補償費	1650万円

おもな質疑

平成29年度補正予算

問 6月6日の新聞に、「市川三郷病院建替え」と掲載された。町長の考えは。

答 いずれは建替えを考えて行かなければならないが、今の峡南医療センター企業団の経営状況では、仮に建替えを計画しても資金がない。今すぐ建替えができる状況ではないと考えている。

問 改善計画では市川三郷病院の入院病床数を30床に減らすのか。

答 建替えはしなくても病床数は減らせるのではない。峡南医療センター企業団で考えて行かなければならない。

問 当局は今回の「峡南医療センター改革プラン」のどの部分で経営改善できると判断したのか。

答 医療分化と医師の確保に両町が連携し、地域のニーズを提示し、健康づくりから治療、在宅ケアまで役割分担を明確にして体制の構築を進めていただく。

問 峡南医療センター改革プランの中で、町が関わって積極的にできることは。

答 高齢者の増加による、在宅ケア部門の必要性は非常に高まっている。両町で連携しどの様な病院機能があれば、地域の皆様が安心して老いることができるのか今年度は考えていく。

問 増穂中学校建具改修工事費の内訳は。

答 一期二期工事に分け予定し、二期目はすでに契約済みでこの夏に予定している。残り半分を二期工事として今定例会に計上している。



改修を待つ窓枠

問 白子地区の町有地のヤマト運輸との契約、貸付期間は。

答 貸付料は月額24万円、貸付期間は20年間で合意し、現在契約の手続きを進めている。

問 公共下水道事業、450万円の内容は。

答 白子地区の町有地内に布設してある下水道管の上に、ヤマト運輸の建物が建設されるため、下水道管に影響がないように延長82mの布設替え工事を行う。

問 全国禹王サミット in 富士川の協賛金を集める方法は。

答 同盟会を構成する、15の市と町に6月末までに、地元企業などに広告掲載料の呼びかけをしていただくようお願いをした。

問 増穂南小学校のコミュニティ・スクール導入等促進事業の期間と、今後国の指定校という形になるのか。

答 導入の促進ということでは、2年間を予定し、次の段階として、運営の充実ということでも更に一歩踏み込んだ事業を予定している。国の指定校ということはない。

コミュニティ・スクールとは

学校と保護者や地域の皆さんが、ともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子ども達の豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

文部科学省ホームページ
「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について」
より参照

【条例改正】

- ・富士川町個人情報保護条例等の一部を改正する条例
個人情報保護に関する法律の改正により、富士川町個人情報保護条例等の一部を改正する。
- ・富士川町過疎対策のための固定資産税の免除に関する条例の一部を改正する条例
過疎地域自立促進特別措置法の施行に伴う条例の一部改正です。
- ・富士川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
内閣府令の施行に伴う条例の一部改正です。
- ・富士川町道に設ける道路標識の寸法を定める条例の一部を改正する条例
道路標識、区画線及び道路標示に関する命令の一部を改正する命令の施行に伴う条例の一部改正です。

【人事】（敬称略）

- ・富士川町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
農業委員及び農地利用最適化推進委員の報酬及び費用弁償に関し、報酬を年額基本給と能率給に改める条例の一部改正です。
- ・人権擁護委員
保坂 幸美（中部区）
- ・教育委員
秋山 悦彦（鯉沢南区）
カラマツオ外三十山恩賜林保護財産区管理会委員
望月 留幸
望月 光治
時田貴美雄
川口 幸人
深沢 光司
望月 守
深澤 明雄
（計七名 五開区）

休日議会を開催

今定例会では、6月17日（土）に休日議会を開催しました。当日は7人の議員が一般質問を行いました。

傍聴者アンケート集計結果

傍聴者：30人 アンケート回答者：10人
性別：男=2人・女=8人

議会を傍聴したことがありますか

今回が初めて……………5人
以前にも傍聴したことがある……………5人

休日議会の試みをどう思いますか

良い試みである……………10人

今後も休日議会の開催を希望しますか

希望する……………10人

休日議会の意見・感想

- 初めて傍聴させていただき勉強になりました。真剣に討議している姿が見え良かった。
- より多くの町民に傍聴してもらえるよう、PRをしっかりともらいたい。
- 議員の活躍や努力がわかりました。
- 時間が自由にとれる。

委員会レポート

—6月定例会—

総務産業建設 常任委員会

(土木整備課)

問 町道の整備事業は。

答 大柵大久保線は、廃軌道から8m道路までの用地交渉を行う。青柳10号線は完成予定。平林伊奈ヶ湖線は舗装工事等を行う。

(都市整備課)

問 町営団地のアスベスト対策は。

答 平成18年に小室団地の囲い込み工事を実施し対応を行った。健康被害の相談はなかった。

問 町民交流広場の工事状況は。

答 8レーンのトラックのウレタン舗装を実施。サッカーコートの人工芝張り付けを来年度行う。

(産業振興課)

問 消費生活相談窓口の状況は。

答 市川三郷町と共同設置した消費生活相談窓口において有資格者の相談員を1人配置し、電話、窓口相談、出前講座等を行っている。



消費生活相談にお気軽に

(財務課)

問 働き方改革の推進は。

答 7月からプレミアムフライデーを導入する。また、現在議案の電子化に取り組んでいる。

(税務課)

問 納税の啓発は。

答 課税に対する相談や、滞納者の納税相談を充実する。また収納率を上げるために県との連携を図る。

(政策秘書課)

問 危険空き家を解体する場

合、空家等対策連絡調整委員会において「危険空き家」が指定されなければ、町の補助金が使えないが、指定はあつたか。

答 実態調査に基づき、空家等対策連絡調整委員会を開催し、「危険空き家」の指定を行う。

問 婚活イベントの状況は。今年度は3回実施する。

教育厚生 常任委員会

(福祉保健課)

問 ひとり暮らしの高齢者の対応は。

答 社会福祉協議会、地域の民生委員、福祉推進委員と連携し、意識的に見守りを行う。

(教育総務課)

問 給食センター整備計画は。

答 28年度 学校給食センター整備検討委員会を設置。先進地視察、3回の検討委員会を行った。29年度に整備基本計画を策定する。

(子育て支援課)

問 児童センター建設の進捗状況は。

答 延べ床1034㎡、平屋建て、室内は木質化を計画。30年12月完成、31年4月オープンを予定。

災害時の避難場所としての活用は防災課と協議していく。

問 子育て支援の状況は。

答 4～5月の出産祝い金は、第1子が4件、第2子が3件を支給した。子育て世代包括支援センターとして応援プランの作成を実施。



支援メニューがいっぱいです

問 災害時の廃棄物処理計画は。

答 県の計画を踏まえて、計画策定済みの市村から情報収集している。

議会改革特別委員会報告

6月20日全議員が参加のもと、議会改革特別委員会を開き、決定しました。

議会基本条例

27年12月から、議会基本条例条例案の推進部会を立ち上げ協議してきました。何回か全議員と修正を重ね、12月定例会に議員発議で提出を予定しています。

議員報酬の見直し

一昨年より、報酬の見直し議論を繰り返して行い、議会として目指す方向を結論づけました。

報酬の見直しは30年4月の新議会からの適用を予定していますが、特別職報酬等審議会での審議、答申を受けての条例改正が必要です。

改正内容は、現行議員報酬月額158000円を月額220000円に引き上げるもので、議員のなり手不足解消や資質向上に繋がると確信しています。なお、議員定数は次の選挙より14人に決まっています。

政務活動費の見直し

現在、90000円の政務活動費をいただいておりますが、30年4月より、30000円に減額します。全額前払い支給から精算払いに変更し、運用基準の見直しを行います。

住民懇談会開催

8月24日(木)午後7時30分 **ますほ児童センター**
(利根川公園内)

8月31日(木)午後7時30分 **町民会館**
(旧鯉沢福祉センター)

議会基本条例

議員報酬の見直し

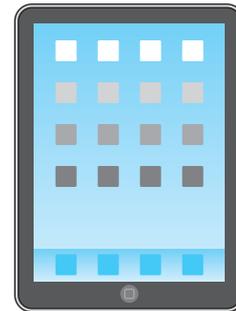
政務活動費

について

皆様のご意見をお聞かせください。

ICT推進部会 研修受け入れ スタート

富士川議会では、県内初のタブレット議会を始めました。
全国でもタブレット議会が注目されはじめ、先進地視察として富士川町議会にも研修の申し入れがありました。
2月16日埼玉県皆野町議会、5月18日山梨県韮崎市議会が来町しICT推進部会で研修を担当しました。



皆野町議会研修



埼玉県皆野町議会の皆さんが熱心に研修されました



タブレットを使って研修中

韮崎市議会研修



庁舎の前で合同撮影

リニア対策特別委員会報告

富士川町では、県が指定する騒音環境基準がリニア軌道の両側400mを範囲とすることから、この地区に住んでいる住民を対象に、リニアが実際に走行するときの騒音、振動、高架橋による日陰、景観について実際に体感してもらうことを目的に「山梨県リニア実験線」の見学会を行いました。

リニア対策特別委員会でも6月1日の見学会に参加し、町民と情報の共有を図りました。



山梨県立リニア見学センター付近



宮川高架橋（大月市初狩）

一般質問

まちの課題を問う

川口正満 議員



問 第2次総合計画の重点施策は

答 11月ごろに取りまとめる

問 近年、難題が質量とも
に多くなり、人口減少と高
齢化が進み町政運営の環境
は厳しい。町民は、福祉・
医療の充実や買い物に不便
を訴えている。高齢者の不
安を解消するための重点施
策は。

政策秘書課長 富士川町第
2次総合計画は、明年度か
らの計画として策定作業を
進めている。今後、町民意
識調査を実施。11月ごろを
目途に重点施策を取りまと
めていきたい。

問 高齢者は3人に1人と
なり、地域のつながりに期
待する声も多い。高齢者の
声を吸い上げ、買い物は生
活、暮らしの一部であり
人々が交流できるという観
点からも、住民の強い要望
に沿って高齢者の不安を解
消するために、どのように
施策を検討していくか。

町長 高齢者の問題は大き
な課題であり、ご意見を伺
いながら、地域でできるこ
と、行政の支援を受けられ
ば、行政の支援を受けられ
地域でできること、行政が

やるべきことに大別しなが
ら、重点施策を決めていき
たい。

リニア騒音の 対策と補償は

問 町は環境影響評価準備
書に対して「国の基準未満
であっても居住者にとって
は、騒音苦情は一生続くこ
とになるので、犠牲を強い
ることのないように騒音、
振動等の苦情について、十
分な対策と補償を講じるこ
と」と意見した。町はJR
東海とどのような打ち合わ
せをしているか。



町内にも建設される高架橋

財務課長 26年1月に、環
境全般に関して意見を提出
した。県は、意見を集約し、
JR東海に提出した。JR
東海は、環境影響評価書
を取りまとめて、騒音に関す
る町の意見も考慮されてい
ると認識している。

今後、JR東海は環境影
響評価書に基づき、音源対
策、個別家屋対策といった
総合的な対策を行う。

問 町は町民が合意できる
十分な対策と補償を講じる
よう、JRに要求し約束さ
せるべきだが。

町長 対策と補償とは、相
反している。補償をとるの
であれば、対策をしなければ
補償はとれると思う、対
策をすれば補償はなくなる。
工事完了後に、実際に営業
線を動かしたら、振動ある
いは騒音が出てくる時には、
補償はしっかりと講じてい
く。因果関係がはっきりす
れば、補償の対象とするよ
うに、町はJR東海にしつ
かり要請をしていく。

問 教員の多忙化改善の取り組みは

答 関係機関と連携していく

さめた洋平 議員



問 教員の多忙化について、本町の現状と認識は。

教育長 近年、学校現場を取り巻く環境は複雑・多様化し、学校に求められる役割や期待は年々増加している。また、学校だけで解決することが難しい課題も増えている。

さらに、教員が抱える業務は増加の一途をたどり、本来、最も重視しなければならぬ子ども一人ひとりと向き合うための時間や、授業の準備、教材研究などに費やすための時間が十分に確保できなくなっている。

問 現状に対する改善に向

けた考えは。

教育長 学校教育に携わる者が連携し、総合的かつ計画的に学校を支援する取り組みに努める。

問 教員の多忙化がさげられる今日、学校現場における業務の適正化に向けて取り組み必要があるが。

教育長 県が各学校に対し、現状と課題の分析に基づいた改善策の検討を指示し、各学校ごとに業務改善計画

を策定した。

こうしたことから、各学校では、教員が担うべき業務に専念できる環境の確保をはじめ、部活動における負担の軽減や、長時間勤務という働き方の改善など、この業務改善計画に基づいた、具体的な実行に入っている。

町教育委員会としても、こうした学校での業務改善への取り組みを支援してい

1日あたりの勤務時間の時系列変化（職種別：平日）

職種別 教員の1日あたりの学内勤務時間（持ち帰り時間は含まない）

小学校	平成18年度	平成28年度
校長	10時間11分	10時間37分
副校長・教頭	11時間23分	12時間12分
教諭	10時間32分	11時間15分
講師	10時間29分	10時間54分
養護教諭	9時間38分	10時間07分
中学校	平成18年度	平成28年度
校長	10時間19分	10時間37分
副校長・教頭	11時間45分	12時間06分
教諭	11時間00分	11時間32分
講師	11時間04分	11時間17分
養護教諭	10時間01分	10時間18分

文部科学省初等中等教育局資料より

きたいと考えている。

問 教員の担うべき業務に専念できる環境の確保に努めると答弁があったが、これまでの具体的な取り組みは。

教育長 現在、業務改善策の一つとして、校務支援システムを先行的に、一部の学校で取り入れ活用している。

このシステムは、教員の膨大な校務事務による負担軽減と、教員の質の向上に向けて導入した。情報の一元化により、複数の教員で、情報の共有ができること。再利用によって、効率化が図られ、教育現場の課題解決につながっている。

問 今後の多忙化改善への取り組みに対する考えは。

教育長 今後も県教育委員会や学校とともに、教員の多忙化の改善に向け、これまで以上に踏み込んだ改善策の実行と、さらに、実効性ある対策に取り組んでいく。

職員の残業を減らす施策は

マイナス目標を掲げ 適正な人員配置に努める

長沢けん 議員



問 庁舎の電気が毎晩遅くまでついている。人員配置、専門職員の配置など、課の格差を是正し、残業を減らす施策は。

財務課長 時間外勤務は、年度当初マイナス目標を掲げている。人員配置は、課ごと要員計画を作成し、仕事量に応じ配置をしている。税務や土木は異動サイクルを延ばしスペシャリストの育成を図っている。外部の委員による事務事業評価も実施している。今後も、時間外勤務の削減と適正な人員配置に努める。

問 20代、30代女性の働く

場の確保は人口減少の歯止めにつながる。保育士を指している若者が、嘱託職員では就職希望せず県外へ出ていく。町長が掲げる500人アップ作戦と、保育所の職員不足の解消策として、嘱託職員の給料アップにつながる考えは。

財務課長 人事院勧告により給料表がプラスの改訂となれば、嘱託保育士の給料も改訂する。大幅な賃上げは予定していない。

問 役場職員の数を減らす施策として、保育所の民営化の考えは。

町長 人口推移を見ながら保育所の適正規模、配置を検討している。

問 20代、30代女性の減少対策は。

政策秘書課長 若者の働く場の確保として、企業誘致や起業支援に取り組んでいる。産業立地事業の奨励補助、サテライトオフィスへの支援事業、空き店舗バンクなど、起業しやすい補助制度なども進めている。

教育支援は

問 奨学金特別会計を、専門学校、大学生まで対象を広げることについて、地元へUターンした学生の奨学金返済を軽減するなどの優遇策の考えがないか。

教育長 これまで同様、奨学金の希望者には、国などの奨学金制度により対応したい。本町独自の奨学金給付や返済の優遇措置について



ある日の午後9時の庁舎の灯り

では考えていない。

問 学校の先生の仕事量の緩和、部活動の活性化として、中学校の部活動の外部指導員導入の考えは。

教育総務課長 外部指導員の適任者等の選任が困難で、今年度は見送った。明年度は学校と協議し、導入が可能か否かを決めたい。

【他の質問】

・職員の地元消費喚起について

問 町有地、既存施設の有効活用を

答 複合・集約化で施設総量の縮減を図る

斉藤 欽也 議員



問 昨年、急浮上した給食センターの建設場所は
教育長 学校給食あり方検討委員会より「給食センターの設置が望ましい」との提言を受け、昨年度、庁内に整備検討委員会を設置し取り組んでいる。4項目の場所選定方針を定めた。

問 鵜沢白子地区の朝市会場をヤマト運輸に貸し出す話が契約段階にきているが、町有地を利用するというところで、今一度検討すべきではないか。

町長 白子地区の町有地は南側をローソンに貸してあり、北側は全体的に狭く形

状が悪いので適地ではない。新たに用地を取得する。

新町民体育館の建設場所は

問 場所選定の基本方針は。
教育長 昨年度、「富士川町民体育館建設検討委員会」から望ましい規模と機能について報告を受けた。本年度「建設基本計画検討委員会」を設置し具体的内容を審議する。その後スポ



もっと有効に利用できたのでは（白子地区町有地）

ーツ推進審議会で審議してもらう。建設場所は明年度、建設用地選定委員会を設置し選定する。

問 体育館と駐車場で2万5000㎡という広大なスペースが必要となる。場所は限られるのではないか。
教育長 限られることにはなるが、これから検討する段階になる。

問 計画では駐車スペースが2万㎡となっており、大

きな土地を必要とする。利根川スポーツ公園には既存の施設や駐車場がある。施設土地を有効に併用活用すべきと思うが。

教育長 建設用地選定委員会で議論していく。

問 児童センターのときは、一定の条件の中で候補地を上げ検討した経緯がある。同様に町が示すもので、利根川スポーツ公園周辺に建設するのがベストである。具体的に選定候補地として提案されるべきと思うが。

教育長 まずは必要となる用地面積を検討し、今後考えていく。

合同庁舎と国有地は

問 国の合同庁舎建設に伴い、不要となる国の施設・国有地の取り扱い。

管財課長 法務局を除く4官署の国有地については等価交換が原則であるが、町として活用策がない場合は交換の対象外とする旨を伝えてある。

問 鯉中を増中への統合検討は

答 今後の大きな課題である

青柳光仁 議員



問 鯉沢中学校の増穂中学校への統合は、検討されているのか。

教育長 現在、検討していないが、生徒数の推移を勘案すると、今後の大きな課題と考える。

問 統合の検討は、鯉沢中学校の生徒数が何人と想定された時か。

教育長 現在は全生徒数が59名で過小規模校となっており、31年以降は減少傾向となるので、今後の課題として検討する。

問 最勝寺区のうち、馬門地区と穂積区など、通学区の検討はできないか。

教育長 今年度の増中、鯉中の学校規模は、小規模校、過小規模校である。通学区域を変更しても過小規模校は解消されず、変更は考えていない。

防災用品の備蓄状況は

問 防災用品の保存食、水、医薬品、毛布など、備蓄数の現状と備蓄場所は。

防災課長 主なものは、保

存食が10、800食、保存水が2リットルのペットボトルで3、600本、簡易トイレ袋が400枚、ブルーシートが93枚、毛布が420枚で、役場本庁舎、町民会館、道の駅富士川の防災倉庫に保管してある。

問 今後の備蓄計画と備蓄を予定している用品は。

防災課長 町民自らが非常用持出品の備蓄を基本とし、町では一定量を確保する。



防災備蓄品 (役場本庁舎)

また、避難者のための食糧や生活必需品および応急対策に必要な資機材を備蓄する計画である。

問 災害時には町の備蓄場所まで取りにいけない場合もある。町が補助し、小単位での備蓄は検討できないか。

防災課長 町では一定の備蓄品の整備・拡充に努めるが、小単位での備蓄については、地域の実情に応じて備蓄品の整備をお願いしたい。

避難所の見直しは

問 富士川町地域防災計画が策定されているが、避難所の定期的見直しは行っているのか。

防災課長 今後定期的な見直しと改訂を行う。

問 防災計画の避難場所指定を統一できないか。

防災課長 区単位での避難場所指定も可能と考え、安全性を勘案する中で設定する。

問 增高跡地に県立短期大学校の誘致を

答 民間が誘致できるのであれば

堀内春美 議員



問 昨年12月議会で跡地利用について質問したが、その後の県の進展状況は。

政策秘書課長 県の方向が示されていない。動向を注視しているところである。

問 県の動向を待つのではなく、富士川町発展のため、跡地をどうしたら良いか、積極的に県に働きかける事が大事ではないか。

政策秘書課長 県の跡地利用が優先するものと考えている。

問 市川三郷町では、高校新設の学校図書館を、町民も利用できる図書館にと県に要望している。町民と生

徒との交流の場となり、人口が減少していく時代に、共有できる物は共有する。素晴らし発想である。県へ要望する強さは、我が町でも見習うべきで、我が町に高校を残せなかったのは、この強さがなかったのかと思うが。

町長 我が町でも県・国を通じて事業を進めている。



校舎を壊さず有効活用を

移設の強みは身延線だと思う。増穂商業高校の跡地については、県で検討しているが、県で活用がなければ、次に町に降りてくると思うので、その時には町でどういう活用策ができるか検討する。

問 富士川町にとって、この町を担う子どもたちに教育的配慮をすることが大事。

增高跡地は「T」関連や観光などの成長分野で、地域に根差した産業を担う、高度な人材を育成する短期大学校を、富士川町に誘致する考えは。

町長 增高跡地の活用、利活用を検討する中で、大学設置の計画があるのであれば、計画内容を精査し、経営的に成り立つのであれば町でも支援していく。

問 国で改正学校教育法が成立し、県でも専門職大学校および短期大学校をという機運ができてつつある記事が掲載された。峡東に産業技術短期大学校があり、北杜に農業大学校がある。県下に大学校がないのがこの峡南で、このチャンスを生かすべきと考えるが。

町長 高度で先進的な教育が受けられる環境が、この地域に整うことは歓迎するが、町は大学経営をするつもりはない。民間が誘致できるのであれば支援していきたい。

問 女性防災リーダーの育成は

答 養成講習に参加を促す

小林有紀子 議員



問 大災害を教訓に女性の視点を生かした防災対策の充実が必要である。「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」を活用して、男女の支援ニーズの違いや、具体的な災害を想定した研修の実施は。

防災課長 今後、このプログラムを活用した研修会を早期に実施し、女性の意見が反映できる防災体制を築いていく。

問 本年度「富士川町地域防災計画」の見直しにあたり、女性の意見を地域の防災計画に反映させる取り組みとして、町の防災会議に

複数の女性委員を登用する考えは。

防災課長 女性委員の登用は必要である。今年度、改定予定の地域防災計画において、登用を求めていく。

問 女性の視点を取り入れた避難所運営体制の強化のため、女性防災リーダーの育成が急務では。

防災課長 現在、町が把握している防災リーダーは328人だが、女性の人数は把握していない。地域防

災力が急務であることから、防災リーダー養成講習に積極的な参加を促していく。

問 本町の女性消防団員の職務の第1は、火災予防広報活動である。町内の一人暮らしの高齢者宅などを訪問し、住宅用火災警報器の普及啓発活動に取り組みたいか。

防災課長 女性消防団員は8人で町職員である。住宅用火災警報器の普及啓発は、女性消防団活動の一環とし



住宅用火災警報機の設置点検を

て、分団と共に実施していく。

産婦健康診査の助成は

問 産後うつ等の予防や新生児への虐待などを防ぐため、国は今年度から、妊娠期間から子育て期にわたる切れ目のない支援として、新たに「産婦健康診査事業」を開始した。本町の費用助成は。

子育て支援課長 医療機関の産後検診体制の整備状況を見ながら準備を進め、明年4月から実施する。

新生児の聴覚検査の助成は

問 新生児の聴覚検査は、早期に適切な支援が受けられれば、聴覚障害による音声言語発達への影響は、最小限に抑えられる。経済的負担の軽減と検査の周知啓発のためにも、新生児聴覚検査の費用助成は。

子育て支援課長 産婦健康診査事業と合わせて、明年4月から実施する。

議会だよりに皆様の声を！

— 議会広報モニター8人を委嘱 —

広報常任委員会では、6月14日、議会広報モニターの委嘱式を行いました。
委嘱期間は、議会だより第32号（平成30年3月議会）までとなります。
今後、8人のモニターの皆さまには、議会だよりが読みやすく、わかりやすい紙面になるようご意見をいただきます。



もちづき じゅん
望月 潤さん



かの あつし
河野 淳さん



わたい まさとむ
渡井 正知さん



あん どう まさる
安藤 勝さん



てつか まさみ
手塚 雅美さん



よだ のぶ
依田しのぶさん



かみづる けいこ
上鶴 恵子さん



しむら
志村ますみさん

議会のおもな活動日誌

4月 25日 議会運営委員会、全員協議会、議会改革特別委員会、広報常任委員会

5月 9日 議会改革特別委員会

第1回総合計画審議会

12日 議会運営委員会

16日 新庁舎整備基本計画検討委員会

19日 全員協議会、総務産業建設常任委員会、教育厚生常任委員会

19日 韮崎市議会視察（来町）

25日 自治功労者表彰式及び町村議会議員研修会

6月 1日 リニア対策特別委員会

2日 議会運営委員会、全員協議会

5日 議会運営委員会

議会だよりが議長会長賞を受賞



平成28年度山梨県広報コンクール議会広報紙町村の部において、富士川町議会だより第26号が、山梨県町村議会議長会長賞を受賞しました。

町民の活動を訪ねて おじゃまします

ぴよぴよクラブ取材しました

取材日：6月13日 長澤健議員、深澤公雄議員

ベルを使って親子でリラックス体操



今回は「ぴよぴよクラブ」の取材にますほ児童センターにおじゃましました。

ぴよぴよクラブは、妊産婦・就園前の親子が、いろいろな遊びや体操を通し情報交換や、育児の相談もでき親子で楽しめるクラブです。

取材日は、「3B体操」という体操をインストラクターの方から楽しく指導して頂きました。

3B体操とは、3つの用具（ボール・ベクター・ベル）を効果的に利用して、有酸素性運動、バランス機能改善運動と筋力づくり運動、ストレッチ、あそびの運動をして乳幼児とお母さんからご年配の方まで誰でも楽しめる健康体操です。

参加した感想と富士川町に望むことは？



藤巻香菜さん/花野ちゃん
(長澤)

- 気分転換でき、子どもも楽しんでくれた。
- 室内で遊べる場所と大きな図書館がほしい。



上田聡子さん/恵太郎くん
(小林)

- 子どもも楽しんでくれ、自分もリフレッシュできた。
- 子どもも遊べる広い公園がほしい。



小林杏奈さん/彩人くん
(最勝寺)

- 子どもとふれあう時間が増え、私も楽しんだ。
- ベビー用品のお店が近くにほしい。



志村由希美さん/和歩くん
(青柳町)

- 子どもと一緒に体を動かさせて楽しかった。
- 図書館が町内に無いのはさみしい。



親子で参加してお友だちをつくってみませんか？

今後の予定は？

- 8月 月～金 **キッズ** プール遊び
- 9月 12日 **ひよこ** ミニ運動会
22日 **きりん** ミニ運動会
- 10月 10日 **ひよこ** ハロウィン
20日 **きりん** ハロウィン

時間は午前10時30分～11時45分予定です。



皆さんの活動を突撃取材します これからも情報をお寄せください！

広報常任委員会 委員長 長澤 健 副委員長 青柳 光仁 委員 齊藤 正行・秋山 勇・川口 正満・深澤 公雄

発行/山梨県富士川町議会
発行責任者/議長 秋山真
編集/議会広報常任委員会

〒400-0592 山梨県南巨摩郡富士川町天神中條1134
TEL/0556-22-1111 FAX/0556-22-3177